

リスクマネジメント

● 危機対応体制の整備

地震や火災、風水害等の自然災害や、有害物質の漏出、不慮の事故など、さまざまな危機的ケースを想定した「危機管理マニュアル」を整備し、これに従った緊急連絡訓練を定期的を実施しています。訓練には、社長以下の取締役も参加して、その実効性を絶えず検証し、強化に取り組んでいます。また、毎年、本社社員を対象に防災訓練も実施しており、2022年度は約90名が参加しました。

非常時には、管理本部内に「経営危機管理対策本部」を立ち上げ、経営危機管理対策本部長のもと、平常体制に移行するまで指揮をとります。

● サイバーセキュリティ・情報セキュリティ推進体制

システムの安定稼働とデータの安全確保は、今日の企業においてきわめて重要な課題のひとつです。当社グループは「情報セキュリティ基本方針」を定め、大規模な災害発生やフィッシングメール等の悪意のある攻撃などから、システムを構成するハードやソフトを守るため、徹底したセキュリティ対策を実施しています。また、個人情報保護に係る各種方針を整備しています。

● シームレスな運用を可能とした基幹システム

業務の中核を担う基幹システムは、全社レベルでの経営情報の集約を実現しスピーディな経営判断を行える体制づくりを目的に、世界中の拠点をシームレスに結ぶこと、将来のさらなる拡張を意図して設計しました。

これによって、米国、フィリピン、タイ、ベルギーなど各拠点とのデータ連携をはじめ、ストレスのない運用を可能にすると同時に、経営情報の可視化が進み原価管理や指標分析の高度化を実現しています。

● デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

2021年度に立ち上げた「DX委員会」を隔週で開催し、各プロジェクトの管理や運営方法の統一化を図るなど、取り組みを強化しています。